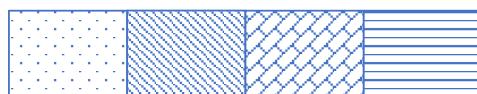


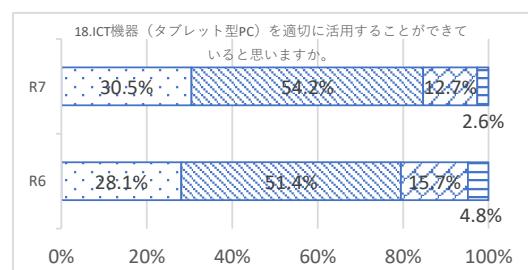
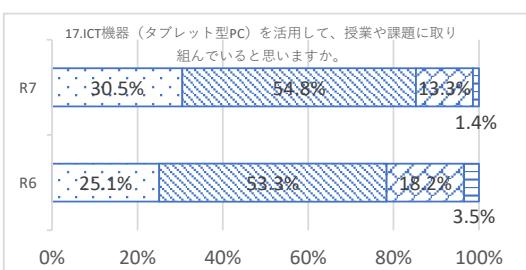
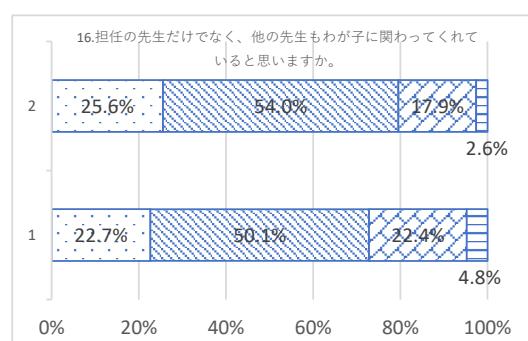
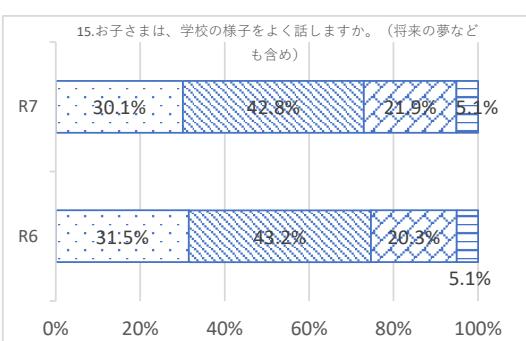
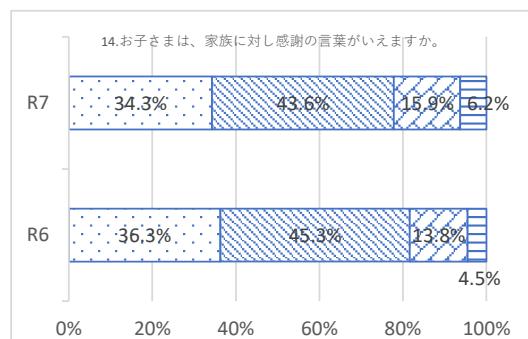
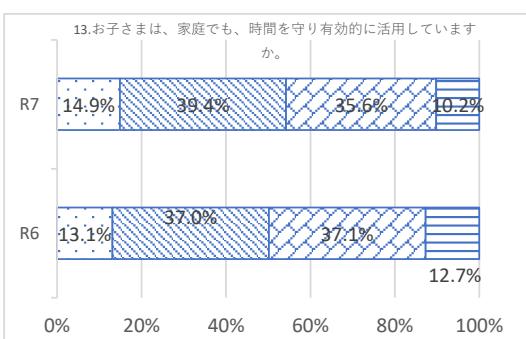
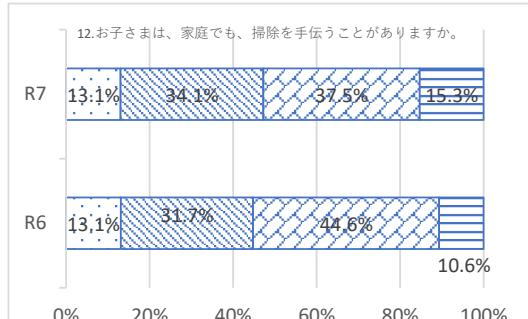
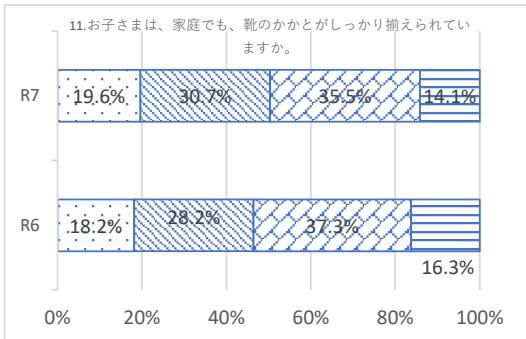
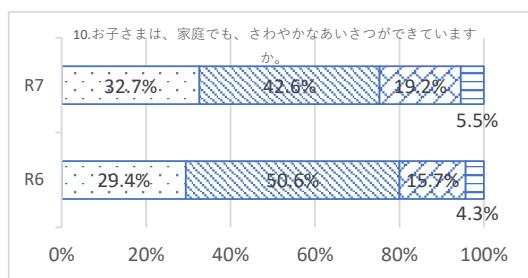
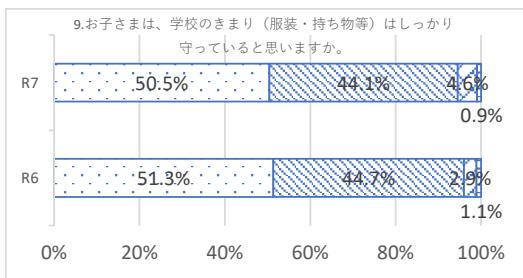
## 令和7年度 学校評価アンケート（保護者）集計結果

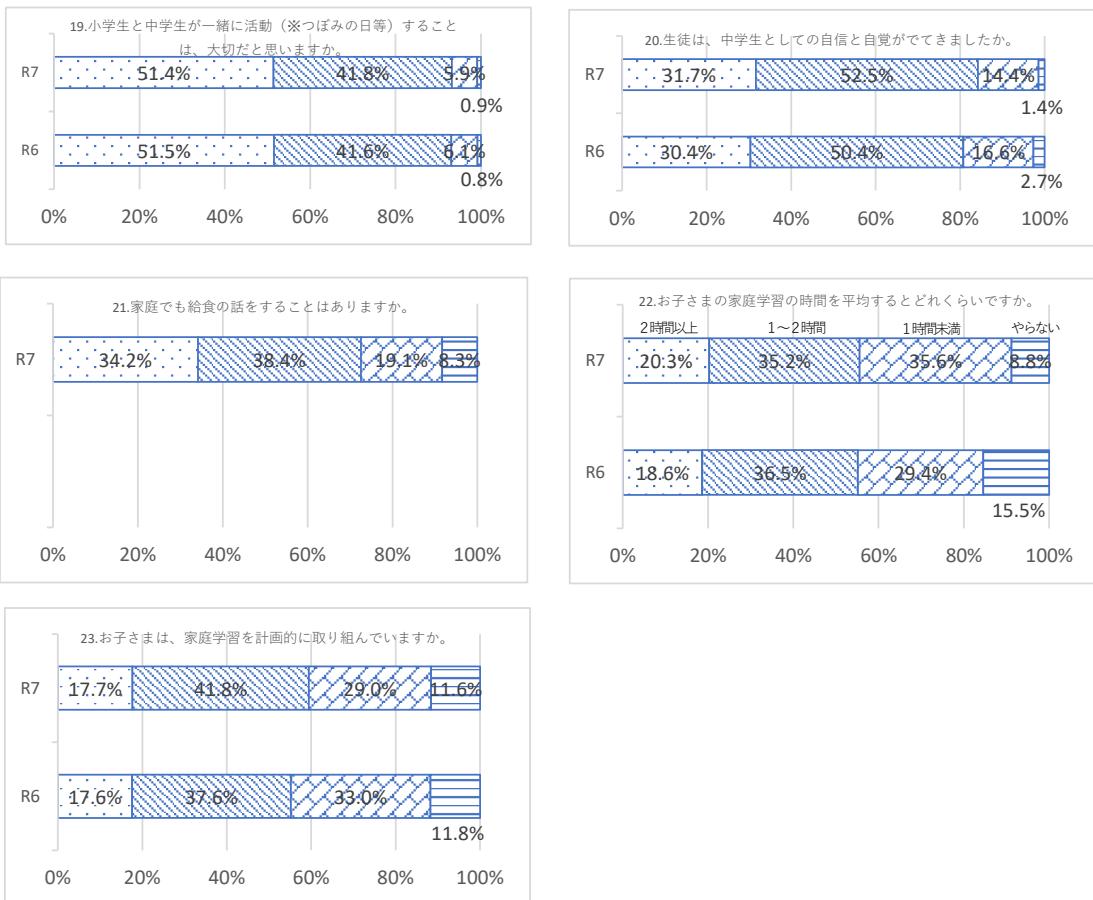
### 凡例



そう思う 大体 あまり そう思わない  
そう思う そう思わない







### （分析）

・質問1～6は主に学校の教育活動に関する質問で、おおむね肯定的な評価を得ることができます。質問1「学校は、教育方針をわかりやすく伝えていると思いますか」については、昨年度より、「そう思う」の割合が5%程度増えた一方、「そう思わない」も6%程度増えています。学校の教育方針を分かりやすく保護者に伝えていく方法について、連絡用アプリのさらなる活用を含め、検討してまいります。昨年度、7割程度の肯定的な評価にとどまっていた質問6「悩みがある生徒の相談によくのっていると思いますか」については肯定的な評価が80.3%まで上昇し、日頃より生徒たちと良好な人間関係を築き、相談しやすい環境を一定程度整えることができていると捉えております。

・質問7～15は主にお子さまの様子をうかがう質問でした。昨年度、質問11「靴のかかとを揃えられていますか」質問12「掃除を手伝うことがありますか」については、肯定的な評価が半分を切る結果でした。今年度は、質問11においては、肯定的な評価が5割を超えたものの、依然として他の質問に比べ、低い傾向にあり課題として捉えております。引き続き、学校で身に付けた習慣が家庭でも生きるように指導をしてまいりますので、各ご家庭でもお声がけいただけたらと思います。

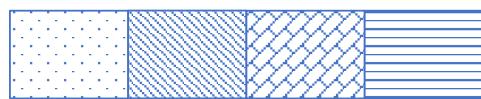
・質問16「他の先生もわが子に関わってくれていると思いますか」については、本校は学年職員に副担任が複数名いるため、授業はもちろんのこと日頃の活動でも生徒たちと深いかかわりを持っています。昨年度、肯定的な評価72.7%から、84.7%と10%程度上昇いたしました。さらにより評価を得られるように努力してまいります。

・今年度から、新設した質問21「家庭でも給食の話をすることはありますか」については、肯定的な評価が72.6%と概ね良好な評価をいただいだと捉えております。今後もおいしい給食を提供できるよう努力してまいりますので、ご家庭でも給食について、話題にしていただけたらと思います。

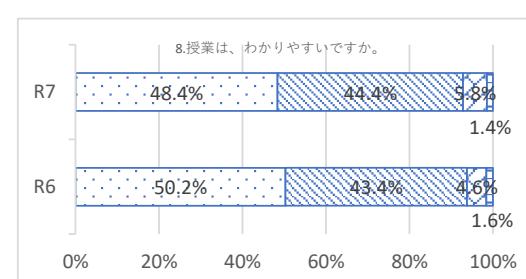
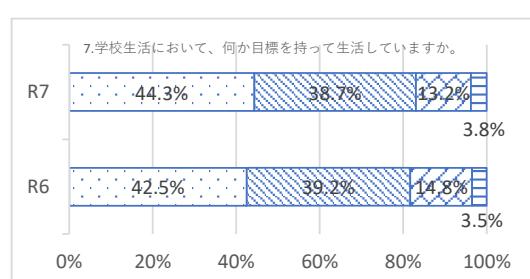
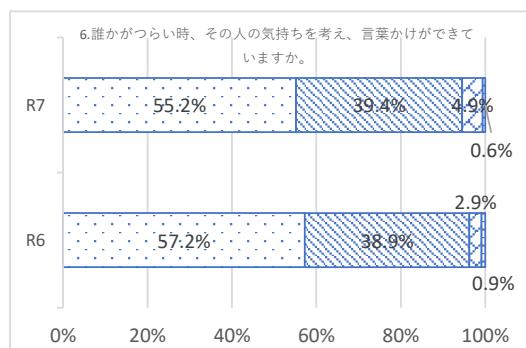
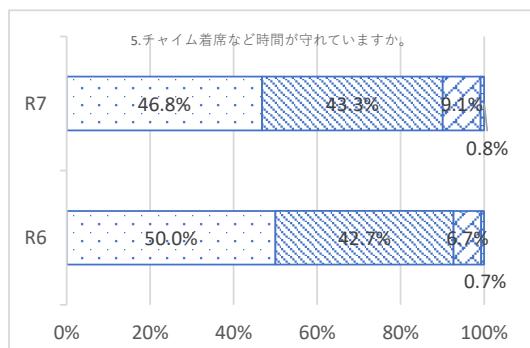
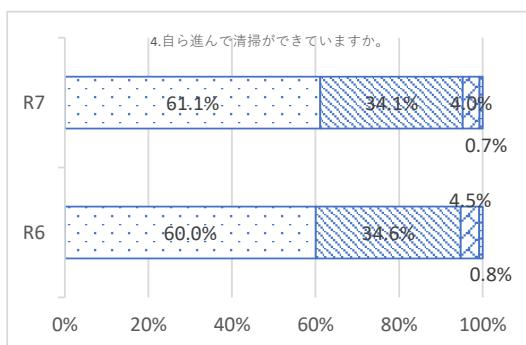
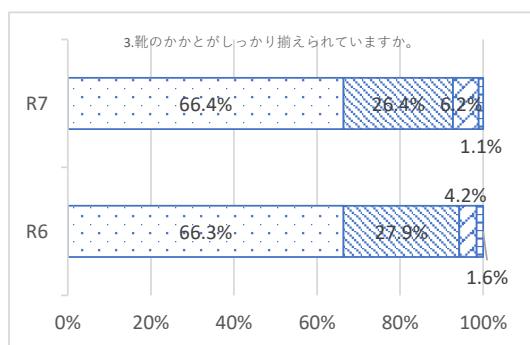
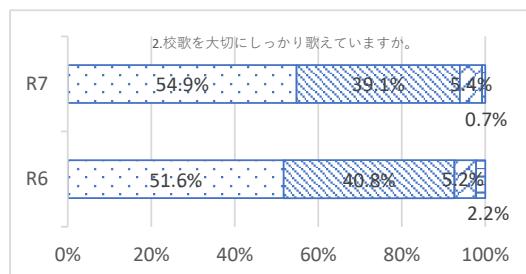
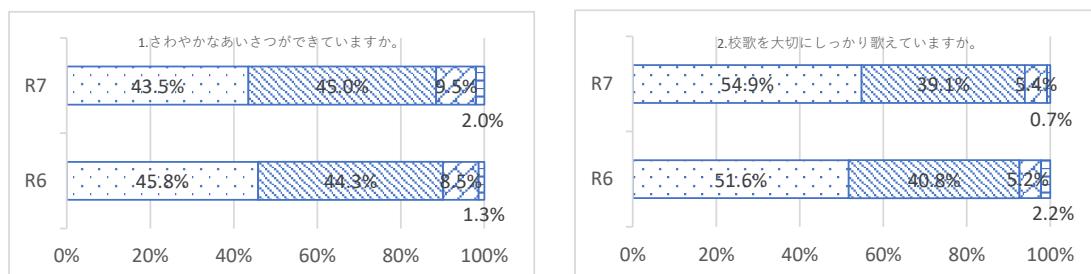
・質問22、23は家庭学習についての質問でした。「やらない」が15.5%から8.8%まで下がり、また、「計画的に取り組んでいる」については肯定的な評価が55.2%から59.5%まで上昇し、若干の改善傾向が見られました。今後も、家庭学習を習慣づけできるような指導を学校でも行ってまいります。

## 令和7年度 学校評価アンケート（生徒）集計結果

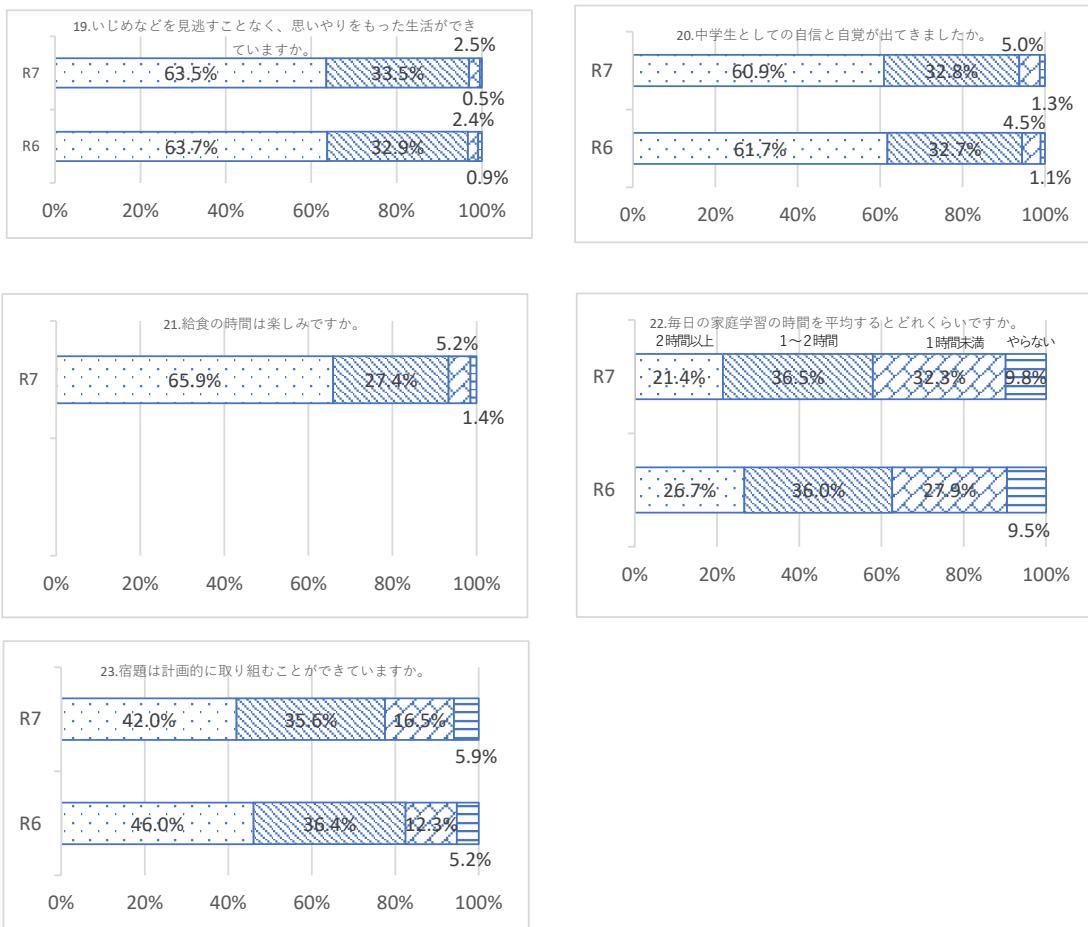
### 凡例



そう思う 大体 あまり そう思わない  
そう思う そう思わない







### (分析)

- 質問1～4は自指す生徒像についての質問でした。どれも9割近い肯定的な評価にはなっていますが、質問1「さわやかなあいさつができますか」については、90%を若干、下回りました。質問3「靴のかかとを揃えられていますか」質問4「進んで清掃ができますか」については、保護者アンケートの分析では肯定的な評価が半分程度であったため、昨年度に続き、大きな乖離が生じております。学校で身に付いた習慣が家でも実践できるように指導をしてまいります。
- どの質問にも概ね80～90%以上の肯定的な評価を得ていますが、質問12「悩みがあるとき、先生に相談をしていますか」については昨年度と同様に、肯定的な評価が70%程度であり、相談しやすい体制の確立や生徒たちと教職員の日頃からの良好な関係づくりに、引き続き取り組んでまいります。
- 質問15、16のICT機器（タブレット型PC）に関する質問については、昨年度に引き続き肯定的な評価を得ることができます。今後は、授業におけるICT機器の活用や生成AIの活用について、さらに研究を進めてまいります。
- 質問18、19の友達関係やいじめを見逃さないことについては、95%以上の肯定的な評価を得ています。100%に近づくよう、学校の指導や支援体制の継続的な充実を図ってまいります。
- 今年度、新設した質問21「給食の時間は楽しみですか」については、肯定的な評価が90%以上であり、学校生活において、楽しみの一つであることが見受けられます。今後も食育の観点を含めながら給食指導を進めてまいります。
- 質問22、23は、家庭学習についての質問でした。昨年度より、2時間以上家庭学習していると答えた割合が5%程度減少した一方、1時間未満と答えた割合が5%程度増えていることから、定期テスト期間等を含め、家庭学習の習慣づけについて、指導してまいります。